

R1年度 こども園における自己評価

(記入方法)

A・B・C・Dの4段階にて評価する。該当欄に○を付ける。

項目ごとに、意見・改善を検討し記述する。

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

| 項目 | 内容 | 評価 | | | | 取り組み状況及び課題 |
|----------|--|----|---|---|---|---|
| | | A | B | C | D | |
| 教育・保育理念 | (1)理念や基本方針が職員に周知されているか | | ○ | | | ・今年度は、3つの重点「自ら」「安心・信頼」「人間関係」を掲げました。そのことにより方向性が明確になり質の高い教育・保育を行うことができました。引き続き、本園の目指すこども像を玄関モニター、クラス通信、おたより、連絡帳、Hp等で知らせ、保護者の方に理解していただけるよう努めていきます。また、行事等の際は、園長が本園の理念や基本方針をわかりやすく伝える機会としていきます。 |
| | (2)理念や基本方針が利用者に周知されているか | | ○ | | | |
| | (3)理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか | | ○ | | | |
| | (4)一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか | | ○ | | | |
| 教育保育の計画 | (1)社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか | | ○ | | | ・教育・保育課程は、全職員で十分に話し合い共有する時間をもち、年度末に次年度につながるよう見直しをしています。今後は保護者からの要望(保護者アンケート)を大切に受け止め、その願いを活かした教育・保育課程となるよう努めていきます。 |
| | (2)指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか | | ○ | | | |
| | (3)子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか | | ○ | | | |
| 子どもの発達援助 | (1)子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか | | ○ | | | ・職員間の共通理解において今年度は、各年齢のチーフ職員がチームリーダーとなり自分達の役割と責任を知り、どんな些細なことも共有し合えるように職員間の連携を図る役目を担ってきました。チームリーダーの配慮によりクラス内、年齢エリア内の共有が昨年度に比べ、できるようになったと感じています。 ・個々の子どもの思いに寄り添った保育を心がけていますが、登降園時に保護者、子どもに満足した対応ができていないことがあり反省しています。個々に合わせた細やかな配慮を心がけていきます。 ・今年度は、子どもの主体的な食育活動を目指してきましたが、保育教諭と給食職員との連携が十分でなかったように思います。全職員が協力し合い、創意工夫した活動を目指していきたいです。 ・主体的な保育について、月1回外部講師の指導の下、研修を重ねており、職員一人一人が学ぼうとする意欲を持つようにしています。保育教諭主導の保育ではなく、子ども主体の保育を心がけ、子どもの興味・関心、「やりたい」という気持ちを尊重し受け止めています。 ・小学校教諭との連絡会では、こども園が遊びを中心とした生活を通して体験を重ねていることや、乳幼児期から児童期の発達の流れを大切にすること等互いの教育方法や指導方法の違いや共通点について意見交換し理解を深めるようにしています。卒園児が小学校教育で力を発揮できるよう年長児で育みたい力を焦点化するなど、保育内容を見直していきます。小学校との円滑な接続を図るよう努めています。 |
| | (2)子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか | | ○ | | | |
| | (3)子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか | | ○ | | | |
| | (4)子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか | | ○ | | | |
| | (5)子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか | | ○ | | | |
| | (6)子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか | | ○ | | | |
| | (7)健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか | | ○ | | | |
| | (8)子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか | | ○ | | | |
| | (9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか | | ○ | | | |
| | (10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか | | ○ | | | |
| | (11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか | | ○ | | | |
| | (12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか | | ○ | | | |

| 項目 | 内容 | 評価 | | | | 取り組み状況及び課題 |
|---------------|--|----|---|---|---|---|
| | | A | B | C | D | |
| 保護者に対する支援 | (1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか | | ○ | | | <p>・各年齢1年に2回の保育参加(観)・懇談会において、子育ての悩みを相談し合ったり、情報交換したりする中で年々保護者同士のつながりが深くなってきています。事後の感想から、保育参加(観)がとても良い機会となっているようです。今後は、保護者と担任職員とのコミュニケーションも大切にし、子どもの成長の姿を日々、細やかに伝えていけるよう努めていきます。要望があれば、個別に面談ができる時間を設けていきます。</p> <p>・虐待防止研修に積極的に参加し、早期発見や予防「に関する知識を深めています。子ども一人一人の細かな変化も見逃さないよう心がけています。</p> |
| | (2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか | | ○ | | | |
| | (3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか | ○ | | | | |
| 教育保育を支える組織的基盤 | (1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか | ○ | | | | <p>・避難訓練において今年度は天候や気温の関係で戸外に避難する訓練が少ない、訓練開始の時間も決まっている等マンネリ化した内容となり、いろいろな状況を想定した訓練を立案する必要性がありました。積雪時や第2、第3避難場所への移動等避難方法を今後職員間で話し合い、危機管理についての検討を早急に行っていきます。</p> <p>自然災害に対する防災対策においては、事務所や園内各所においてハザードマップを掲示し、職員の安全意識が常に高まるよう配慮しています。</p> <p>・苦情に対して、早期解決を図るよう努めていますが、その対応が保護者にとっては十分でないと感じられた方がいました。保護者はどのような解決やその後の対応を望んでいるのか検討していきます。例えば苦情の対応を保護者が目につきやすい玄関に張り出すなど工夫をしています。</p> <p>・今年度、教育・保育をどう展開すべきであるか見直しを持って臨むために、職員間で「保育を語る」場面を意識するようにしました。職員間でわいわいがやがやと子どもを語り合うことで子どもの気持ちを尊重することの大切さに気付き、子ども理解が深まってきました。今後も「子どもを語る職場風土」を築き、保育の資質向上に努めていきます。</p> |
| | (2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか | ○ | | | | |
| | (3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか | ○ | | | | |
| | (4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか | ○ | | | | |
| | (5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか | ○ | | | | |
| | (6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか | ○ | | | | |
| | (7)事業計画が職員に周知されているか | | ○ | | | |
| | (8)事業計画が利用者に周知されているか | | ○ | | | |
| | (9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか | ○ | | | | |
| | (10)個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか | | ○ | | | |
| | (11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか | | ○ | | | |
| | (12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか | | ○ | | | |
| | (13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか | | ○ | | | |
| | (14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか | | ○ | | | |

施設関係者評価

●保護者アンケート結果より、登降園時の保育教諭の対応に満足していないことがわかりました。子どもへの言葉かけや笑顔、身だしなみに配慮し、丁寧に接していくことで保護者の方への安心につながります。次年度の課題だと思えます。

●保護者アンケートから「A:十分そう思う」のグラフに伸びが見られますが、「C:あまり思わない」の回答がどの設問にもあります。Cと感じられている理由はどんなことなのかを具体的に挙げて検証し、数値が低くなるよう意識していくとよいです。その他、保護者の意見や要望がたくさん綴られており、職員と保護者の方のつながりが感じられます。園長先生と職員の思いや努力がとても伝わりました。

●避難訓練は時間、回数などにとらわれず、臨機応変に自分たちの訓練を行ってほしいです。子どもや職員の命を守る大切な訓練です。工夫しマンネリ化しないように課題をもって臨みましょう。